

第 37 期 第 3 回 理事会 議事録

日時：2026 年 9 月 26 日（土）9:00～12:10

場所：Zoom 会議

出席者（50 音順、敬称略）：浅海、荒木、池上、石上、岡原、小笠原、楠本、倉岡、高畑、佐藤、清水、高橋、田原、西、橋元、樋上、深井、本田、増田、松尾、守田、山瀬

特別参加：中谷淳子 先生

欠席：井上、山下

1. 会長挨拶（西）

今月で第 37 期が終了するが、会の諸活動が活発に行われた期であった。また今期は、産推研を長きにわたり支援くださった労働衛生会館が 9 月 25 日に閉鎖されることになり、産推研に多額の支援をいただいた。今回の理事会では、その有効活用と適切な管理についての審議もお願いしたい。よろしくお願いします。

2. 大学近況（中谷 淳子 先生）

〔開学 50 周年事業〕

産業医科大学開学 50 周年事業のロゴマークが決まり、特設サイトが開設されている。

寄附金を募集している。是非多くの方にご協力願いたい。

〔教育〕

● 第 4 次中期計画の主な数値目標

1. 国家試験合格率

医師国家試験)

目標：全国上位 4 分の 1 以内または合格率 95 %以上

令和 8 年 本学 94.1 %（全国 31 位/ 82 大学）全国 91.6 %

令和 2－8 年（7 年平均） 96.6 %、全国 6 位、私立 5 位、九州地区 1 位

看護師国家試験)

目標：全国合格率平均 5 ポイント上回る

令和 8 年 本学 98.6 %、全国平均 94.1 %

保健師国家試験)

目標：全国合格率平均 5 ポイント上回る

令和 8 年 本学 94.4 %、全国平均 89.9 %

2. 入学者選抜試験志願倍率

①医学部

目標：20.0 倍（令和 9・10 年度目標は 20 倍）

令和 8 年度入学者 20.5 倍（実績）

②産業保健学部看護学科

目標：4.0 倍（令和 9・10 年度目標は学校推薦 2 倍、一般選抜 5.5 倍）

令和 8 年度入学者 3.9 倍（実績）

③産業保健学部産業衛生学科

目標：3.6 倍（令和 9・10 年度目標は学校推薦 2 倍、一般選抜 3 倍）

令和 8 年度入学者 2.4 倍（実績）

● その他

3. 令和 9 年 大学基準協会 第 4 期機関別認証評価を受審
4. 教育・学修・研究における生成人工知能（AI）の利活用に関する方針の取りまとめと周知
5. 産業医学基本講座（本学、東京開催）
 - ◇ 本学：5 月 18 日（月）から開催。62 名（本学卒 41 名、他学卒 21 名）が受講。
 - ◇ 東京：6 月 2 日（火）から開催。31 名（新規 20 名、再受講 11 名）が受講。
6. 学生支援
 - ◇ 産業医科大学教育研究支援募金より
 - 旧女子寮の内外壁面へのペイントイベント
 - 内外に広がる巨大なアート空間を創出する
 - 小児病棟や地域住民との交流による社会、地域連携の推進及び解体前施設の活用、記録を通じた愛校心の向上を目的とする
 - 多職種連携ハイブリットシュミレータ（SCENARIO）の購入
 - 産業保健学部における国際交流支援
 - 6 号館女子トイレを和式から洋式に随時改修
 - 混雑緩和及び快適な学習環境の整備となる
 - ◇ 柔道同好会、ワンダーフォーゲル同好会が部活に昇格

[研究]

- 外部資金獲得状況
 - 新規申請 182 件（令和 7 年度は 184 件）
 - 新規採用 34 件（令和 7 年度は 38 件）、採用率は約 18%（全国平均は約 25%）
 - 新規採用額 66,950 千円（令和 7 年度は 70,200 千円）
 - 継続 118 件（令和 7 年度は 108 件）
 - 継続額 109,642 千円（令和 7 年度は 122,382 千円）
- 科研費採択支援
 - 令和 8 年度「研究活動スタート支援」：応募件数 10 件
 - 令和 8 年度「科研費申請書に関する書き方」セミナー開催
 - 講師：医学部 公衆衛生学 中田 光紀 教授
 - 医学部 整形外科 鈴木 仁士 准教授
 - 産業保健学部 作業環境計測制御学 樋上 光雄 教授
 - 研究者から承諾を得た「科研費」採択調書の閲覧

- 令和 8 年度産業医学・産業保健重点研究採択状況
 - 新規申請 18 件（学内研究 16 件、学外共同研究 2 件）、継続申請 2 件を採択

[病院運営]

- 若松病院の集約化について
 - 令和 9 年 5 月に本院に集約の予定
 - 病院支援募金によって若松病院の集約化に伴う教職員の居室等を整備する
- 本院中央診療施設に令和 8 年 10 月より「気胸・膿胸センター」を設置

[社会貢献]

- 熊本地震の被災地支援
 - 災害産業保健センターによる支援従事者の支援
震災発生 5 日目から立石教授を中心に継続して実施
 - DMAT を派遣（医師 1 名、看護師 2 名、臨床工学技士 1 名、救急救命士 1 名）
隊員は 28 日から 30 日まで現地で患者の転院搬送業務等の医療支援を実施した。
- 令和 8 年度中央労働災害防止協会 顕功賞・緑十字賞の本学卒業生の受賞
 - 顕功賞：土肥 誠太郎 先生（医 1 期卒）
 - 緑十字賞（労働衛生）：山本 健也 先生（医 13 期卒）
上原 正道 先生（医 14 期卒）
- 大規模災害対応講習会の開催
 - 本学会場で 8 月 20 日～21 日に開催し、対面 33 名、オンライン 19 名が受講
 - 東京会場で 9 月 2 日に開催し、対面 46 名が受講
- 産業医学基礎研修会夏期集中講座
 - 第 1 クールを 7 月 27 日～8 月 1 日に開催し、386 名が修了した
 - 第 2 クールを 8 月 3 日～8 月 8 日に開催し、384 名が修了した
- 衛生工学衛生管理者講習について
 - 8 月 24 日～28 日に本学で衛生工学衛生管理者講習が開催され 42 名が受講
- 産業医科大学免疫難病コンサルタント有限責任事業組合の設立
 - 産業医科大学などの出資により設立し、創薬や治験、新たな治療戦略構築を支援し、免疫難病患者が働き、暮らせる環境づくり（産業医学の進歩）に寄与することを目的としている。
 - コンサル事業として欧米の学会で得られる最新の学術情報やカンファレンス分析を国内外の製薬企業・研究所へ提供し、学術指導を実施する。
 - データ活用事業として臨床・免疫フェノタイプデータベースを活用し、企業等との共同解析研究を推進する。
 - 事業収益を産業医科大学や関連講座の組織運営・研究発展へ還元し、国際的プレゼンス向上を目指す。

[業務運営]

- 新任教授（敬称略）
 - スポーツ医学 内田 宗志
 - 広域・発達看護学 在学看護学 前野 有佳里
- 令和9年度 入学式・卒業式日程
 - 入学式 2027年4月6日（火）午前10時
 - 卒業式 2028年3月3日（金）午前10時
- 大学理事長賞詞
 - 財津将嘉（高年齢労働者産業保健研究センター教授）、江口尚（産業精神保健学教授）、国際センター、大学事務部研究支援課
 - 産業保健学部産業衛生科学科、大学事務部キャリア支援課

[案内]

- 産業医科大学学会が2026年10月3日（土）に産業医科大学2号館で開催
- 国際シンポジウム2026が2026年11月13日～14日に産業医科大学で開催
- 第100回日本産業衛生学会総会が2027年5月26日～29日に北九州メッセ、北九州国際会議場で開催

3. 理事活動報告

会長活動報告

- 2026年5月24日から2026年9月27日まで
 - 6月4日 産業医大ソリューションズ株主総会（八嶋社長退任に伴いお礼）
 - 6月12日 労働衛生会館（IHF）への挨拶（38回大会）
 - 7月2日 IHF基金に関する意見聴取
 - 7月6日 厚生労働省労働衛生課、産業医学振興財団への挨拶（38回大会）
 - 7月14日 医学部1年生総合セミナー講演 産業生態科学研究所
 - 8月27日 産業医大ソリューションズ訪問（38回大会）
 - 8月28日 産業医大訪問（38回大会）
 - 9月2日 OHAS-Neo 打合せ
 - 9月25日 大学「産業医学Ⅰ」講義（医学部1年生）
 - 9月27日 櫛風会総会懇親会（来賓、北九州）
- Zasso（雑談相談の会）を毎月開催 大学学会学会長賞推薦（今回は該当なし）
- 医学部同窓会関係（医学部同窓会副会長）：総会対応（メール）

特別報告）IHF 基金について

- 一般財団法人労働衛生会館（The Industrial Health Foundation: IHF）
- この組織には産推研の事業（主に全国大会）に関して、優れた産業保健スタッフの育成事業として毎年30万円の支援を頂戴していました。この度、会館閉鎖になり、今後の産推研への援助と称して、寄付（¥11,014,812）をいただくことになりその寄付を「IHF 基

金」という名称とし、産推研における産業医学の発展、産業保健スタッフの育成に関する事業に活用することにした。

- 産推研理事会において、この「IHF 基金」の運用規定を総務で作成する。

2) 総務（佐藤、松尾）

- 会員管理

2026 年 9 月 20 日時点の会員総数は 939 人となっている。

- 会則管理

2026 年 5 月に施行細則 23「産業医学推進研究会のあり方に関する検討委員会」に関する規定を新設した。

- 評議会企画運営

第 6 回評議員会議を 4 月 11 日 17:30～18:50（オンライン）で開催した。

- 2026 年（第 6 回）功績賞選考

選考委員会で選考の結果、大塚創平さん、松田元さん、本田桐子さんの功績賞受賞候補者が提案された。

2-2) 審議事項

2-2-1)

- 「IHF 基金運用規定（案）」と「IHF 基金運用細則（案）」について説明があった。
- 理事会からは「使用目的・対象の明確に規定すること（全国大会開催費を主とする方針）」、「使用目的・対象を明確とした使用計画・方針を規定すること」、「基金の保全方針を明確に規定すること（銀行へ預けることを原則とし、それ以外の投資等を行わない方針）」が意見として挙げた。「全国大会運営費として毎年 30 万円を支出し、その他事業の年間上限を設定すること」に賛成多数であった。これら意見をもとに総務担当理事にて規定・細則の最終化を進めることとなった。

2-2-2)

- 功績賞候補者に理事を含めることの是非について審議した。過去に候補者に理事が上がったことはない。現在の規定では理事を含めることを妨げるものはない。
- 産推研に功績があった者として功績賞候補者として推薦される範囲に理事を含めることに差し支えないとの意見が多数であった。
- 選考委員会から大塚創平さん、松田元さん、本田桐子さんが功績賞受賞候補者として理事会に提案された。理事会の賛成多数により同 3 名への功績賞授与が決定された。

3) 会計（守田、本田）

- 年会費納入状況（2026 年 10 月～2026 年 9 月 時点）

年会費納入額計 2,730,000 円

予算 2,224,800 円

- 助成金等収入

医学部同窓会から助成金 10 万円、産業医科大学から賛助会費 10 万円、

産栄会から助成金 5 万円、櫛風会から助成金 5 万円

- 寄附金

一般財団法人労働衛生会館から ¥ 11,014,812 の寄附金をいただいた。

産推研のメインバンクである三井住友銀行に法人定期預金口座を開設予定である。

- OHAS-Neo 2026 の収支報告

収支計 ¥ 70,142 であったことが報告された。

- 3 期以上未納者の特定、催促、退会処理のスケジュール

2025 年 4 月に 100 名が退会処理となり、

2026 年 6 月に 22 名が退会処理となったことが報告された。

- メンバーサイトの利用料金について

ログデータ保管期間を見直すことで、利用料金を最適化したことが報告された。

4) 広報（深井、荒木、山下、山瀧）

[報告内容]

- 産推研/メンバーシステム HP について

- 産推研 HP は鈴木さんに委託している。

- サーバをお名前.com の有償サーバで運用している。

- 会員限定情報はメンバーシステム HP を利用している。

- 産推研 ML の運用 について

- 903 人、1129 件に配信している（2026 年 9 月時点）。

- 配信漏れ対策にメールアドレスの複数登録を奨励（医学部同窓会誌、櫛風会だよりに寄稿予定）

- メルマガ発行

- 年 4 回、地方会予定などを掲載している。

- メンバーシステムからの不達が 34 人ある。

- 産推研紹介動画作成（※限定公開のため、このファイルでは URL を省略。URL は 2026 年 10 月 6 日 投稿 の産推研 ML [SSK:008237]に記載。）

新バージョンを制作済み。近日中に公開予定。

- 評議員

- 評議員 ML 登録更新

- 会議、打ち合わせ

- 産推研の認知向上

- 産業医科大学校歌について会員に周知した

- 斉唱（全節通唱）

<https://www.youtube.com/watch?v=wd1hs-jm8Bw>

- その他、斉唱第 1 節、混声合唱第 1 節、混声合唱全節通唱

<https://www.youtube.com/watch?v=6BZz9aCyUNY> （斉唱第 1 節）

<https://www.youtube.com/watch?v=iRSua7GJnuM> （混声合唱 1 節）

<https://www.youtube.com/watch?v=ymn0qFkeFrs> (混声合唱全節通唱)

[今後の活動予定]

- 産推研の認知向上
 - 学生・卒業生の認知と参加の促進
 - 産業医科大学学生諸君に贈る歌の周知（※限定公開のため、このファイルでは URL を省略。URL は 2026 年 10 月 6 日 投稿 の産推研 ML [SSK:008237]に記載。）
 - 産推研紹介動画（新）の活用
 - 学生向け資料更新（医学部現場実習）
→現在、深井さんと理事補佐にて作成中（10 月末完成予定）
- メルマガを年 4 回配信
 - 2026 年第 1 号（3 月配信）、臨時号（6 月配信）、第 2 号（10 月予定）
- 産推研 HP と媒体の活用
 - 新サーバの機能活用

5) 研修・教育（増田、楠本、樋上）

第 37 期活動

- OHAS-Neo 2026（5 月 16 日開催）
- 今後の活動方針・予定
 - 年 1 回程度、各地方会とは別に研修会等を開催
 - OHAS-Neo 開催（学術担当理事と連携）：次回 2027 年 1 月頃

6) 学術（池上、井上、石上）

- 業務内容と活動報告
 - 研修・教育担当理事とともに OHAS-Neo 2027 開催への準備
→テーマや講師の候補を選定中
 - 産業医大会 学会長賞の推薦：該当者なし
→推薦方法等を少し見直す予定
 - 産業医学推進研究会の学術面からのサポート：0 件

7) IT（清水、橋元、倉岡）

- 報告事項なし
- 今後 AI 活用に関する会員ニーズ調査を行い、ニーズに合わせた情報提供などを検討する
- 広報、総務、会計の業務のうち IT に関連する業務を特定し、所掌の見直しを進める

4. 地方会報告

1) 東海（高畑）

[今後の予定]

- 第 38 回全国大会の開催予定

日程：2026 年 10 月 24 日（土） 11:00 開場、11:30 総会、13:00 開会の予定

会場：ウインクあいち 5 階小ホール（名古屋駅桜通口から徒歩 5 分）

菅沼直樹先生（刈谷病院）：アルコール依存症講演、ワーク

後藤英之先生（佐賀県産業医学協会）：動機づけ支援講演、ワーク

[会計報告]

- 東海地方会会計報告があった。

3) 近畿（高橋）

[活動報告]

- 近畿地方会第 53 回研究会

日程：2026 年 3 月 1 日（日） 13:00～15:30 予定

開催方法：現地（AP イノゲート大阪 11F）& 後日オンデマンド配信

テーマ：治療と仕事の両立支援 ～企業の取り組みと制度～

講師：永田昌子先生（産業医科大学医学部 両立支援科学 医 18 期卒）

参加者：53 名（現地 15 名、オンデマンド登録 38 名）

- 近畿地方会第 54 回研究会

日程：2026 年 7 月 11 日（日） 15:00～17:00

開催方法：現地開催のみ（AP MEETING SPACE AP 大阪駅前 ROOM A 地下 1 階）

テーマ：頭痛ケア「産業医・保健師のスキル向上を目指した頭痛ケア教育プログラム」

講師：京都府立医科大学 脳神経内科 石井亮太郎先生 他

参加者：研究会 25 名（会員 17 名、非会員 8 名）、懇親会 26 名

[活動予定]

- 2026 年度 医学部 産業医学現場実習（11 月 30 日～12 月 4 日）の受け入れ期間中に「産推研説明会」を開催予定

[会計報告]

- 近畿地方会会計報告があった。

4) 九州（浅海）

[活動報告]

- 九州地方会第 59 回研究会

日程：2026 年 8 月 22 日

開催方法：現地開催のみ（黒崎）

参加者：47 名（産業医 7 名、産業看護職 28 名、教員 3 名、学生 7 名、その他 2 名）

テーマ：保健師の研究・学会発表への第一歩 ～日々の実践を研究につなげるために～

講師：保健師としての実践を研究・学会発表につなげる事例紹介

台信美咲先生（看護学科 23 期 西日本産業衛生会 保健師）

上原直美先生（看護学科 6 期 ダイハツ九州株式会社 保健師）

現場のデータから始める産業保健職のための研究入門

池上和範先生（医学部 20 期卒 桜十字福岡病院 産業医）

座長：西村恭子（看 13）

米村佳純（看 22）

[活動予定]

- 会場費高騰に伴い安価で利用できる会場を選定し予約することに努めている
- 九州地方会第 60 回研究会は 10 月 3 日に第 44 回産業医科大学学会と開催予定

5) 関東（小笠原）

[活動報告]

- 関東地方会第 89 回研究会

日程：2026 年 9 月 5 日 14:00～17:00 ハイブリッド開催

テーマ：高年齢労働者の活用を考える－エイジズム、モチベーション、そして「生き生き働く」－

講師：浅野 浩美 先生（開志創造大学大学院 教授）

グループディスカッション：

「無意識のエイジズムで働き方が制限されてしまった経験と、今だったらどのように対応するか？」

「定年のない会社を作るとして、どのような働き方をしてもらうか？」

参加者：30 名（現地 13 名、オンライン 17 名）

[活動予定]

- 関東地方会第 90 回研究会

日程：2027 年 2 月予定（テーマ検討中）

[会計報告]

- 関東地方会会計報告があった。

5. 医学部同窓会、櫟風会

- 医学部同窓会

医学部同窓会では昨年から会員に寄附金をお願いしている。25 年度だけで 550 万円近くが集まった。今年の入学からは同窓会費を値上げした。

医学部同窓会会報誌（赤煉瓦）に産推研に関する情報を掲載いただく。

- 櫟風会

9 月 27 日に櫟風会懇親会を開催する。

櫟風会だよりも産推研に関する情報を掲載予定である。

6. 今後の日程

- 第 38 期理事会（2027 年）

➤ 1 月 23 日 9:00～12:00（オンライン）

➤ 5 月 22 日 9:00～12:00（オンライン）

➤ 9月25日 9:00～12:00（オンライン）

- 評議員会

2027年4月10日（土）17:15～19:00（オンライン）

- 第39期総会・第39回全国大会（九州）

2027年10月1～2週目頃 正午後（第39回全国大会の前）

以上